

**栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)**  
**【単独事業】**

市町名	矢板市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	川崎城跡公園周辺 地域再生事業	総事業費		427,679	392,762	443,845		1,264,286
		うち市町支出額		270,000	270,000	270,000		810,000
		うち県交付金		135,000	108,082	135,000		378,082
2	たかはらやまトライ アスロン大会支援 事業	総事業費				3,317,000	4,500,000	7,817,000
		うち市町支出額				500,000	500,000	1,000,000
		うち県交付金				250,000	250,000	500,000
3	生涯学習フェスティ バル開催事業	総事業費				1,500,251	1,510,000	3,010,251
		うち市町支出額				1,500,000	1,500,000	3,000,000
		うち県交付金				628,737	750,000	1,378,737
4	女性活躍推進事業	総事業費				236,165	190,000	426,165
		うち市町支出額				180,000	180,000	360,000
		うち県交付金				90,000	90,000	180,000
5	スポーツフェスティ バル開催事業	総事業費				2,000,258	1,640,000	3,640,258
		うち市町支出額				2,000,000	1,500,000	3,500,000
		うち県交付金				500,000	500,000	1,000,000
6	地域共助型生活交 通(コロナ矢板・ 玉田)運行事業	総事業費	1,622,031	2,948,042	3,204,613			7,774,686
		うち市町支出額	1,287,825	2,290,057	2,357,985			5,935,867
		うち県交付金	342,913	525,000	525,000			1,392,913
7	HAPPY HAPPO Project 推進事 業	総事業費	1,022,511	691,428	787,939			2,501,878
		うち市町支出額	875,000	691,423	747,927			2,314,350
		うち県交付金	430,500	325,708	373,963			1,130,171
8	矢板駅前イルミ ネーション事業	総事業費	1,041,402	996,095	806,361			2,843,858
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000			2,400,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000			1,200,000
9	高校生まちづくり 活動事業	総事業費	133,440	178,250	891,771			1,203,461
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000			300,000
		うち県交付金	50,000	50,000	50,000			150,000
10	ともなり文芸祭り	総事業費	1,114,627	902,040	542,510			2,559,177
		うち市町支出額	1,000,000	830,000	500,000			2,330,000
		うち県交付金	500,000	415,000	250,000			1,165,000
11	片岡駅前イルミ ネーション事業	総事業費	795,243	524,511	514,616			1,834,370
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000			1,500,000
		うち県交付金	250,000	250,000	250,000			750,000
市町計	総事業費	5,729,254	6,668,045	7,140,572	7,497,519	7,840,000		34,875,390
	うち市町支出額	4,562,825	5,481,480	5,275,912	4,450,000	3,680,000		23,450,217
	うち県交付金	1,973,413	2,100,708	1,957,045	1,603,737	1,590,000		9,224,903

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業
事業主体の名称	川崎城跡公園再生市民会議
代表者の名称	会長 東泉 和男
事業主体の所在	〒329-2192 矢板市本町5-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 地域の活性化を図るために川崎城跡周辺の景観整備を行う。</li> <li>・設立年月日: 平成19年5月17日</li> <li>・構成員等: 活動の趣旨に賛同する市内在住の個人及び団体</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	川崎城跡公園は約800年前、塩谷地方を領有していた塩谷氏の5代朝義が宇都宮業綱の次男朝業を後継者に迎え築城した川崎城の跡地を整備した公園であり、空堀や土塁、本丸など昔をしのばせる史跡が随所に残っている。園内には、梅の花が咲き誇り素晴らしい景観も満喫できる。しかし、年々木製の橋・手すり等の腐食が進んでおり、交流人口数への影響も懸念されることから、周辺の美化活動を継続しながら、景観再整備の必要性が非常に高まってきている。
事業目的	本市のシンボルのひとつであり、指定文化財にもなっている「川崎城跡」にある川崎城跡公園を地域に愛される公園にするとともに、地域の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①園内の草刈等の維持管理を実施した。</li> <li>②園内の花壇整備や梅の剪定等、景観整備を実施した。</li> <li>③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全を実施した。</li> <li>④ともなり橋ライトアップを実施した。</li> </ul> <p>【令和7年度以降】</p> <p>前年度の取組を踏まえ、事業の充実を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【数値目標】 交流人口数 1,879,864人(R2年度実績) ⇒ 2,000,000人(令和7年度目標)</p> <p>【KPI】道の駅利用者数 122万人(R2年度実績) ⇒ 129万人(R7年度目標)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(実績)	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や梅の剪定等、景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ		①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ
事業費	427,679	392,762	443,845	1,264,286	370,000
市町支出金(ソフト事業分)	270,000	270,000	270,000	810,000	270,000
うち県交付金	135,000	108,082	135,000	378,082	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	157,679	122,762	173,845	454,286	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	270,000	市補助金 270,000円
雑入	129	預金利息等
繰越金	173,716	前年度繰越金
計	443,845	

2 支出の部

科目	精算(見込)額	財源			備考
		市町支出资额		自主財源等	
		市	町		
食糧費	2,832	0	0	2,832	会議運営費等
委託料	136,540	136,540	68,270	0	川崎城跡公園の保全
通信運搬費	10,498	10,498	5,249	0	通知郵送料等
原材料費	61,800	61,800	30,900	0	花壇の花苗代
保険料	8,400	8,400	4,200	0	作業保険料
消耗品費	57,425	43,224	21,612	14,201	除草剤、維持管理事業消耗品費等
燃料費	9,538	9,538	4,769	0	刈払い機用燃料代
繰越金	156,812	0	0	156,812	次年度繰越金
計	443,845	270,000	135,000	173,845	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	たかはらやまトライアスロン大会支援事業
事業主体の名称	一般社団法人 栃木県トライアスロン協会
代表者の名称	理事長 櫻井 潤一郎
事業主体の所在	〒324-0036 大田原市下石上1313
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 日本トライアスロン連合の加盟団体として、栃木県におけるトライアスロンの健全な普及発展を図るとともに、トライアスロンに関するスポーツを楽しむアスリート相互の親睦を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 1995年3月19日</p> <p>・構成員等: 理事23名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	たかはらやまトライアスロン大会は、地元青年会議所が平成5年に第1回大会を開催して以来、令和元年の第27回大会まで好評の中開催された大会であるが、令和2年1月に始まる新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当大会も中止を余儀なくされてしまっていた。
事業目的	現在栃木県内には、オリンピックディスタンス競技(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)は、開催されていない。専門誌のアンケートにおいては、そのおもてなし度が、数ある有名大会を差し置き第1位にランクされた実績を有している当該大会を、今年度一般社団法人栃木県トライアスロン協会の主催として復活させるものである。
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】</p> <p>トライアスロンオリンピックディスタンス及びスプリントディスタンス競技を開催する。</p> <p>5年ぶりの大会開催にあたり、新たにSNSの運用を始め、地域外の方や幅広い世代の方に大会情報を周知するとともに、市内の観光施設や宿泊施設等の情報もあわせて発信することで、観光振興も図り、関係人口の創出に寄与する。</p> <p>また、今大会から新たに、地元高校生ボランティアによる選手へのおもてなしを行うことで、地域や年代を超えた交流の機会を創出し、矢板市への愛着を高める取組を行う。</p> <p>・開催日: 令和6年8月4日</p> <p>・参加実績数: オリンピックディスタンス競技 77名、スプリントディスタンス競技 53名、役員及びボランティア 150名</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>トライアスロンオリンピックディスタンス及びスプリントディスタンス競技を開催する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標: 来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>数値目標: 交流人口数(人) 1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7)</p> <p>KPI: スポーツ交流人口 170,763人(R2)⇒250,000人(R7)</p> <p>スポーツツーリズムによる経済波及効果 14億168万円(R2)⇒21億2,500万円(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

		令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		①トライアスロン大会の開催 ②市内宿泊施設への宿泊案内 ③市特産物の活用 ④市内業者からの優先物品調達	①トライアスロン大会の開催 ②市内宿泊施設への宿泊案内 ③市特産物の活用 ④市内業者からの優先物品調達		①トライアスロン大会の開催 ②市内宿泊施設への宿泊案内 ③市特産物の活用 ④市内業者からの優先物品調達
事業費		3,317,000	4,500,000	7,817,000	4,500,000
	市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	1,000,000	500,000
	うち県交付金	250,000	250,000	500,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
	その他自主財源等	0	2,817,000	6,817,000	4,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	たかはらやまトライアスロン大会支援事業	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
大会参加料	2,612,000	大会参加料
補助金	500,000	市補助金
協賛金	205,000	協賛金
計	3,317,000	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	220,000			220,000	審判・ボランティア報償費
消耗品費	450,000			450,000	選手・ボランティア参加賞
食糧費	1,100,000			1,100,000	選手・ボランティア昼食費
印刷製本費	190,000			190,000	大会ポスター・パンフレット印刷費
保険料	170,000			170,000	選手・ボランティア保険料
委託料	1,060,000	500,000	250,000	560,000	タイム計測、会場設営費
使用料及び賃借料	127,000			127,000	会場使用料
				0	
				0	
				0	
計	3,317,000	500,000	250,000	2,817,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	生涯学習フェスティバル開催事業
事業主体の名称	矢板市生涯学習フェスティバル実行委員会
代表者の名称	会長 平山 大将
事業主体の所在	〒329-2165 矢板市矢板106-2(矢板市生涯学習課内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 市民一人一人が生きがいに満ちた豊かな人生を送るため、生涯にわたり自由に学ぶことができ、その学習の成果が地域社会で生かされることにより、市民一人一人が主体的に考え、行動し、互いに助け合える生涯学習社会の実現に寄与するため、「矢板市生涯学習フェスティバル」を開催する。</p> <p>・設立年月日: 令和6年6月22日</p> <p>・構成員等: 矢板市内の中学生、高校生、大学生、地域おこし協力隊員、NPO法人等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、地域イベントや学習成果の発表など、市内外の住民同士の交流機会が減少してしまった。</p> <p>また、地域イベントやまちおこしイベントの担い手の高齢化が進み、イベントの企画運営のノウハウが継続されていないため、人と人が交流する機会が減少してしまっている。</p>
事業目的	<p>新型コロナウイルスで途切れてしまった人と人とのつながりを結ぶため、学習成果の発表や体験を通し、多世代間の交流を推進し、市民一人一人が主体的に考え、行動し、互いに助け合いながら、やりがいに溢れた人生を実現する生涯学習社会の実現を目指す。</p>
事業概要	<p>「体験」と「つながり」をテーマとして、市内外の若者が企画・運営に主体的に参加し、多世代が交流する「生涯学習フェスティバル」をみんなで創り上げる。誰もが生きがいに満ちた豊かな人生を送り、生涯にわたり自由に学習機会を選択して学び、その学習の成果が地域で生かされる「生涯学習社会の実現」を目指す。</p> <p>【令和6年度】</p> <p>○矢板市生涯学習フェスティバルの開催【I-a、I-d】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 令和6年10月27日(日)</li> <li>開催場所 矢板市文化スポーツ複合施設 矢板市末広町49-1</li> <li>内容 市内小学校、中学校、高等学校等の児童生徒による学習成果の発表 栃木県子ども総合科学館アウトリーチ事業(科学実験コーナー等) 障がい者スポーツやニュースポーツの体験コーナー 地産地消メニューの提供 等</li> </ul> <p>【令和7年度以降】</p> <p>○矢板市生涯学習フェスティバルの開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標: 来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>数値目標: 交流人口数(人) 1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7)</p> <p>KPI: 道の駅利用者数 122万人(R2)⇒129万人(R7)</p> <p>目標: 安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる</p> <p>数値目標: 地域活動への参加状況(%) 40.9(R1)⇒50.0(R7)</p> <p>KPI: 市民協働のまちづくり事例数 10団体(H28～R2)⇒14団体(R3～R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容		令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
		「矢板市生涯学習フェスティバル」 ○小・中・高校生の学習成果の発表 ○障がい者スポーツ、ニュースポーツの体験コーナー ○県子ども総合科学館の科学実験コーナー等			
事業費		1,500,251	1,510,000	3,010,251	1,510,000
市町支出金(ソフト事業分)		1,500,000	1,500,000	3,000,000	1,500,000
うち県交付金		628,737	750,000	1,378,737	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	251	10,000	10,251	10,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	生涯学習フェスティバル開催事業	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	1,500,000	市補助金
雑収入	251	利息等
計	1,500,251	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	100,000	100,000	50,000	0	ワークショップ等講師謝金
消耗品費	227,567	227,567	113,783	0	参加者配付物品、事務用品代等
印刷製本費	27,126	27,126	13,563	0	ポスター、チラシ等
委託料	508,900	508,900	254,450	0	会場設営、交通整理員等
保険料	17,733	17,733	8,866	0	イベント保険料
使用料及び賃借料	375,050	375,050	187,525	0	会場借上料、備品等借上料
手数料	1,100	1,100	550	0	振込手数料
食糧費	204,784	204,784	0	0	ステージ発表者、ブース運営者 飲食物
繰越金	37,991	37,740	0	251	
				0	
計	1,500,251	1,500,000	628,737	251	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	女性活躍推進事業
事業主体の名称	矢板市女性団体連絡協議会
代表者の名称	会長 中嶋 加代子
事業主体の所在	〒329-2165 矢板市矢板106-2(矢板市生涯学習課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的: 矢板市女性団体の相互理解と協力により、地域の共通課題に取組み、さらに人としての教養を高め、明るいまちづくりに貢献することを目的とする。</li> <li>設立年月日: 昭和56年7月27日</li> <li>構成員等: 矢板市内の女性団体(5団体)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	市内の女性団体やボランティア団体の活動員の減少及び高齢化が進んでいる一方、令和5年6月にG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催されたことを契機に、女性活躍推進の機運が高まっている。本市においても、令和5年3月に「矢板市女性議会」を開催し、新たな人材を発掘することができた。既存の団体に属さないが意欲と能力のある女性の活躍の場の提供と支援を行う。
事業目的	男女共同参画社会を実現するため、様々な地域活動の場で女性の参画が拡大し、女性が主要な担い手として活躍できるよう、参画に意欲のある女性の発掘・育成・支援活動や、女性が活動の中心的な役割を担う意義・重要性についての意識啓発活動等を実施することにより、市民一人ひとりが主体的に考え、行動し、互いに助け合える生涯学習社会の実現に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>地域おこしやまちづくりなどに興味・関心があり、「住みたい矢板市」のためのイベント等の企画・運営に積極的に参画する女性の人材の発掘・育成・支援活動を実施した。また、中学生や他団体との交流を通して、地域のつながりを緩やかに結び直すことにより、地域において女性が活動の中心的な役割を担う意義・重要性についての意識啓発活動を行った。</p> <p>【令和6年度】</p> <p>(1)英語の絵本の読み聞かせ 場所: 矢板市立図書館 開催時間: 10:30~11:30 ①R6.7.27(土)参加者60人 ②R6.11.23(土)参加者80人 ③R7.3.22(土)参加者45人</p> <p>(2)矢板市HUG(避難所運営ゲーム)体験教室 日時: 令和6年8月7日(水)13:30~16:00 場所: 矢板市文化スポーツ複合施設 参加者65人</p> <p>(3)矢板市生涯学習フェスティバル 場所: 場所: 矢板市文化スポーツ複合施設 日時: 令和6年10月27日(日) すいとん汁・非常食の無料配布、みんなにやさしい避難所のあり方の提言書の掲示、ネイルアート・ワークショップ</p> <p>(4)不登校勉強会 日時: 令和7年2月1日(土)14:00~15:30 場所: 矢板市立図書館 参加者5人</p> <p>(5)親子みそづくり体験教室 日時: 令和7年2月15日(土)13:30~15:00 場所: ファーマーズマーケット里のえき 参加者90人</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>○英語の絵本の読み聞かせ 親子みそづくり体験教室等の開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標: 来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>数値目標: 純移動数(人) -115(R2)⇒±0(R7)</p> <p>KPI: 道の駅利用者数 122万人(R2)⇒129万人(R7)</p> <p>目標: 安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる</p> <p>数値目標: 住みよさに対する満足度(%) 59.8(R1)⇒70.0(R7)</p> <p>KPI: 市民協働のまちづくり事例数 10団体(H28~R2)⇒14団体(R3~R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容		令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
		女性活躍推進事業 ○英語の絵本の読み聞かせ ○矢板市HUG(避難所運営ゲーム)体験教室 ○不登校勉強会 ○親子みそづくり体験教室	女性活躍推進事業 ○英語の絵本の読み聞かせ ○矢板市HUG(避難所運営ゲーム)体験教室 ○不登校勉強会 ○親子みそづくり体験教室		女性活躍推進事業 ○英語の絵本の読み聞かせ ○矢板市HUG(避難所運営ゲーム)体験教室 ○不登校勉強会 ○親子みそづくり体験教室
事業費		236,165	190,000	426,165	190,000
市町支出金(ソフト事業分)	うち県交付金	180,000	180,000	360,000	180,000
	市町支出金(ハード事業分)				
その他自主財源等	うち県交付金	0	0	0	0
		56,165	10,000	66,165	10,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	女性活躍推進事業	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	180,000	市補助金
雑収入	19,572	参加費、利息等
繰越金	36,593	前年度より
計	236,165	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	36,000	36,000	18,000	0	英語の絵本の読み聞かせ講師謝金
交際費	7,000	0	0	7,000	賀詞交歓会参加費
消耗品費	126,259	118,000	59,000	8,259	八宝なべ28,069円、みそづくり88,100円、読み聞かせ2,218円、外
燃料費	3,816	2,000	1,000	1,816	視察研修の燃料費
食糧費	3,760	0	0	3,760	総会のお茶代
委託料	10,000	0	0	10,000	ワークショップ運営委託料
使用料及び使用料	24,930	24,000	12,000	930	施設使用料、ガスボンベ借り上げ料
予備費	0	0	0	0	
繰越金	24,400	0	0	24,400	
				0	
計	236,165	180,000	90,000	56,165	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	スポーツフェスティバル開催事業
事業主体の名称	矢板市スポーツフェスティバル実行委員会
代表者の名称	会長 山口 忠男
事業主体の所在	〒329-2165 矢板市矢板106-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的: スポーツの普及振興のため、幼年から高齢者、障がい者など多様な主体の参加により、人の交流を育み、新たなコミュニティ形成を図るとともに、子どもや未経験者でも気軽に楽しめるよう市スポーツ協会加盟団体の競技を体験型の実施や、日頃の活動内容やスポーツ教室の開催状況等を紹介するとともに、多くの市民にスポーツの楽しさを知ってもらい、共に活動できる環境を提供することを目的とする。</p> <p>・設立年月: 令和6年8月8日</p> <p>・構成員等: 矢板市スポーツ協会・矢板市スポーツ推進委員会・矢板市レクリエーション協会他</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市においては、スポーツによるまちづくりを目標にスポーツコミッションを立ち上げ、交流人口・関係人口の増を目指すため、令和6年4月1日に矢板市文化スポーツ複合施設を設置・開場し、施設を中心とするハード面の整備が整った状況であるが、少子高齢化や若者世代の進学・就職に伴う転出などにより、転出超過に歯止めが利かない現状があり、スポーツに関わる市民が減少している状況が大きな課題となっている。</p>
事業目的	<p>スポーツによるまちづくりをさらに加速させるため、市では各種スポーツや健康に関する事業に取り組んでおり周知等を行っているが、スポーツに触れ合う機会が少なく、関わり方がわからない市民が多くあるため、気軽に触れ合える場を提供し、レクリエーション感覚でスポーツを行い、また、それが健康につながることを理解いただく場を提供する。併せて、スポーツは自分で行うだけでなく、見ることやボランティアで関わることができることも周知し、スポーツが身近に感じられる場を提供するとともに、地域では唯一である最新の体組成計を備える施設において、近隣市町をはじめとするスポーツ・健康に関する交流人口を増加させるとともに経済波及効果を生み出すことを目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-a、I-d】 スポーツフェスティバルを開催し、下記事業を実施した。</p> <p>・開催日: 令和6年10月13日</p> <p>・開催場所: 矢板市文化スポーツ複合施設、とちぎフットボールセンター</p> <p>①市スポーツ協会加盟団体による体験型スポーツの実施 ②市スポーツ教室の周知 ③ニュースポーツの体験 ④eスポーツの開催</p> <p>上記事業及び最新設備の体組成計の体験等を実施することで、市文化スポーツ複合施設を中心に関係人口・交流人口の増加を図った。</p> <p>【令和7年度以降】 スポーツフェスティバルの開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】 来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【数値目標】 交流人口数: 1,879,864人(R2)→2,000,000人(R7)</p> <p>【KPI】スポーツ交流人口: 170,763人(R2)→250,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①市スポーツ協会加盟団体による体験型スポーツの実施 ②市スポーツ教室の周知 ③ニュースポーツの体験 ④eスポーツの開催	①市スポーツ協会加盟団体による体験型スポーツの実施 ②市スポーツ教室の周知 ③ニュースポーツの体験 ④eスポーツの開催		①市スポーツ協会加盟団体による体験型スポーツの実施 ②市スポーツ教室の周知 ③ニュースポーツの体験 ④eスポーツの開催
事業費	2,000,258	1,640,000	3,640,258	1,640,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	1,500,000	3,500,000	1,500,000
うち県交付金	500,000	500,000	1,000,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	258	140,258	140,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	スポーツフェスティバル開催事業	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	2,000,000	矢板市補助金(うち、わがまちつながり構築事業補助金:500千円)
出展料	0	10,000円×10店
賛助金	0	10,000円×3社
雑収入	258	預金利子等
計	2,000,258	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	336,240	336,240	115,000	0	謝金・参加ノベルティ等
消耗品費	504,511	504,511	123,000	0	事務用品、イベント用品代等
印刷製本費	0	0	0	0	
保険料	14,778	14,778	7,000	0	ボランティア保険料、イベント保険料
通信運搬費	1,870	1,870	0	0	振込手数料
委託料	617,980	617,980	200,000	0	イベント業務出展委託料
使用料	255,070	255,070	55,000	0	施設使用料
繰越金	269,809	269,551	0	258	
				0	
				0	
計	2,000,258	2,000,000	500,000	258	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合